

ふるさとに夢と誇りをもち、ふるさとに貢献する子を育てる活動

岐阜県高山市		● 活動名 朝高子どもしとねる会		● 関係する学校名 高山市立朝日小学校・朝日中学校	
開始年度	平成 23 年度	学級数	3 学級	児童・生徒数	40 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	連携団体等	まちづくり協議会
ボランティアの数	登録人数 35 人	属性	地域住民・PTA役員等		
参考 URL	http://www.city.takayama.lg.jp/kurashi/1000020/1000114/1000781/1000791.html				
● 連絡先	高山市立朝日中学校		☎ 0577-55-3006		

● 体制図



● 活動の概要・経緯
地域の教育力を向上させるとは、地域住民が高い意識をもって子育てに関わることであり、地域で子供の姿について語り合う集まりがもうけられた。そこで語られたことを実際に具現するための組織が必要であることから、「朝高子どもしとねる会」が生まれた。「朝高子どもしとねる会」は、学校の教育課程において必要な人材をコーディネートし、より豊かな学習になるよう支援している。農業体験、自然体験、福祉体験、史跡探訪、地域行事への参画、地域貢献等について、「朝高子どもしとねる会」の会員とともに。会員は授業参観、行事への参加等を通して、学校評価を行う。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

安心安全な環境づくりと子育て支援の活動

- ・挨拶運動と言葉かけ活動 ・熊や蜂や不審者などから子供を守る安心安全な環境づくりの支援
- ・各種行事や保育参観・授業参観への積極的参加による保育・教育活動への提言（保育評価と学校評価）
- ・多くの世代の子育て経験の交流や、地域や大人の役割を学ぶ取り組み ・自分の命は自分で守る子供の育成
- ふるさとを学ぶ郷土学習支援と子供の輝きを伝える活動
- ・自然・文化・歴史等について、ふるさとのよさやふるさとに生きる人々の知恵を学ぶ郷土学習アドバイザーとして支援
- ・持続可能な開発のための教育（ESD）の視点に立ち、ふるさとの課題について自ら考え行動、貢献する子供の育成
- ・まちづくり協議会、地域住民との連携により、各種大会・コンクール等での成果を看板等で発信

【実施にあたっての工夫】

- ・会員のみでの活動にならないよう、保育園・小学校・中学校の合同 PTA と連携をとって活動する。
- ・熊や蜂などの対応について、地域からの情報を得るとともに、諸経費については、まちづくり協議会等の地域振興のための機関や、PTA の補助を受ける。
- ・多機関のリーダーが加わることで、地域全体の動きが把握でき、学校への地域の願いや学校からの発信が広がりやすい。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・子供の安心安全のための対策や地域での挨拶の指導等、学校任せの意識から脱し、地域住民が積極的に子供にかかわり、声をかけることが多くなった。また、少子化が進む学校の将来について、意見を交流する場をもつことができ、地域住民全体の問題としてとらえようとする動きが見られるようになってきた。
- ・子供たちにおいては、ふるさと学習によって地域と接点が増えるとともに、系統的継続的な学習が成立することにより、地域への所属感が高まっている。



川遊び体験「あじめはや」について説明する会員



地域貢献「オオハシコン草駆除」朝高子どもしとねる会とともに作業

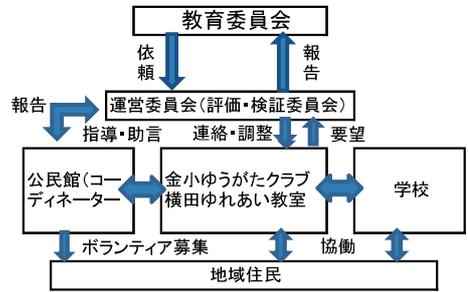
ポイント

積極的に子供と関わる機会を設けていくことで、地域の側の意識形成が図られていく様子が良く伝わる実践ですね。

地域を大切に作る心を育てる楽しい居場所 —町の伝統芸能・文化を通して—

福島県金山町		● 活動名 金小ゆうがたクラブ		● 関係する学校名 金山町立金山小学校	
開始年度	平成 19 年度	学級数	3 学級	生徒数	24 人
放課後児童クラブとの連携				平均人数	10 人
一体型	連携型	(連携状況) <input checked="" type="checkbox"/> 毎回 <input type="checkbox"/> 定期的に <input type="checkbox"/> イベントがある時 <input type="checkbox"/> 活動場所を共有 (共有の活動場所) 町に児童クラブがなく、その役割もなっている。		連携なし	子供の参加人数
統括的な地域学校協働活動推進員の数	0 人	地域学校協働活動推進員の数	1 人	実施場所	施設名：金山町開発センター 実施場所：ホール他
ボランティアの数	4 人	属性	地域住民	学習活動の有無	有
参考 URL					
● 連絡先	金山町教育委員会		☎ 0241-54-5360		

● 体制図



● 活動の概要・経緯
放課後子ども教室は、地域の大人との交流を通じて子供の成長と地域教育力を向上させることを目的としている。「金小ゆうがたクラブ」は、放課後の子供たちの安心・安全な居場所作りとして開催され 10 年目を迎えた。地域のニーズを受けて、登録した子供たちのための居場所として月～金まで毎日開催している。火・金曜日は子供たちの学習支援として、登録児童のみならず金山小の児童の全てを受け入れている。さらに、隔週で地域に伝わる季節の行事や伝統芸能、又は料理づくりなど様々な体験活動を通して、郷土愛、豊かなこころの育成を図っている。

放課後子供教室

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

「金小ゆうがたクラブ」では、できるだけ学校で体験することが出来ない活動を主に活動内容を決定している。例えば、地域のボランティアの方を講師に招いた伝統行事や伝統文化・芸能体験では、郷土理解はもちろん、異世代間交流を図ることで豊かなこころの育成を図っている。年に 4～5 回実施している料理体験では、伝統料理である「笹巻きづくり」や「草だんごづくり」、クリスマスには「手作り簡単ケーキ」など手軽に出来る料理に挑戦している。また、昨年度からは、地域の企業の方を講師に迎え、本棚づくりなどの木工体験活動や、野尻川漁業協同組合の方からアユの放流の話の聞いたり、川の生き物調べたりするなど、地域の教材、地域の人材を活用した活動を、子供たちと一緒に考えながら新たに取り入れている。

【実施にあたっての工夫】

放課後子ども教室では、宿題を終わらせてから自由遊びや様々な体験活動に取り組むという流れで運営している。この流れは、既に子供たちに浸透しており、低学年の子供の宿題を高学年の子供が教える姿も見られる。また、隔週で実施しているイベントは、異学年の子供たちが楽しい時間を過ごすことができ、イベントの内容がマンネリ化しないよう工夫している。その他、秋に開催される地区の文化祭では子ども教室の体験活動で制作した作品を展示し、学習の成果を地域住民に広く発表する場の確保に努めている。小規模学校でもあるため、低学年の子供たちの面倒を高学年の子供たちが見てくれるというとても良い流れが出来ている。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・ 全体の児童数が減少する中で、参加者数、参加率を見るとほぼ横ばい状態が続いており、活動内容の工夫等により、放課後子ども教室が子供たちにとって安心・安全で楽しい場になっていると考えられる。
- ・ 数多くの地域住民に講師やボランティアとして参加してもらうことで、昔話、昔あそび、伝統行事等の体験活動を通して異世代間交流が盛んに行われ、子供たちの郷土愛、思いやりの心、規範意識等の育成に大きく寄与している。
- ・ 金小ゆうがたクラブの活動については、通信や町民だよりに掲載して広く PR しており、このことで地域の子供たちは、地域全体で育てていこうという意識が高まり、地域教育力の向上、地域の活性化につながっている。



「本棚作り」
企業の方を講師に招いて



「川の生きもの調べ」
専門家を講師に招いて

ポイント

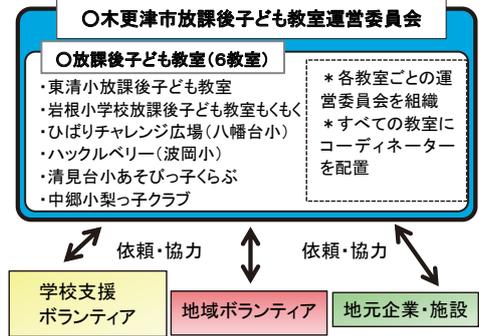
宿題→遊び・プログラムという流れが安定して行われていることが良いですね。低学年の子の宿題を高学年の子が見る姿も素敵だと思います。開催日数も多く、非常に頑張っているようですね。

地域で子供を育み、地域の協力者のやりがいを作る充実した放課後活動

千葉県木更津市	● 活動名	● 関係する学校名
	木更津市放課後子ども教室	木更津市立東清小学校、木更津市立岩根小学校、木更津市立八幡台小学校、木更津市立波岡小学校、木更津市立清見台小学校、木更津市立中郷小学校

開始年度	平成 19 年度	学級数	12 学級	生徒数	339 人
放課後児童クラブとの連携					
一体型	連携型	(連携状況) <input type="checkbox"/> 毎回 <input type="checkbox"/> 定期的に	連携なし	子供の参加人数	平均人数
		● イベントがある時 <input type="checkbox"/> 活動場所を共有 (共有の活動場所) 小学校		90 人	
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数	地域学校協働活動推進員の数	配置人数	実施場所	施設名: 小学校 実施場所: 余裕教室・運動場
	0 人		6 人		
ボランティアの数	登録人数	属性		学習活動の有無	無
	0 人				
参考 URL	http://172.16.16.31/cms/index.cfm/12,29546,25,166.html				

● 体制図



● 連絡先 木更津市教育委員会生涯学習課 ☎ 0438-23-5278

● 活動の概要・経緯

木更津市の放課後子供教室は心豊かでたくましい子供を社会全体で育てるため、放課後に小学校の余裕教室や校庭等を活用して、地域の大人を指導員として配置し、さまざまな体験活動や地域住民との交流活動を行っている。平成 19 年に木更津市放課後子ども教室運営委員会を設立し、木更津市が事業を委託し、小学校区を単位として構成される各地区組織(運営委員会)ごとに、地域の実情に合わせて活動している。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 地域の大人の見守りによる自由活動
「遊ぶ内容は自分たちで決める」をルールとして学年の壁を越えた交流を行っている。
・昔遊び(竹馬、独楽回し、けん玉、ゴム段)、将棋、オセロ、囲碁、大縄跳び
- 地域住民の指導による体験教室
地域住民の指導により、子供たちの体験活動の場となっている。
・工作(竹細工、竹遊具作り、絵手紙、自由木工作)
・火を使う体験(ベッコウ飴作り、キラビー)
・スポーツ活動(スラッグライン、グランドゴルフ、ドッジボール、バドミントン)
・地元養豚場による出前教室(食育教室)

【実施にあたっての工夫】

- 木更津市放課後子ども教室運営委員会は、放課後子供教室の事業計画の策定や運営方法等を検討し、事業を効果的に推進するための意見交換を行っている。
- 各教室のコーディネーターを中心に、地域の実情にあった体制で教室の運営をしている。教室ごとのルールを作り、集団遊びを中心とした活動の中で児童と地域住民との交流を図っている。
- 教頭とコーディネーターが打合せを行い、担任に活動日程や依頼事項の案内をして、学校と放課後子供教室の連携が行われている。保護者への活動内容や注意事項等の説明は、各教室の運営委員会による保護者説明会で募集要項を配布している。

● 事業を実施しての効果・成果

- 活動を通して地域の大人と子供が知り合いになることで地域への愛着が強くなり、また、集団遊びに慣れていない子供にとっては遊びを通して成長につながった。子供たちの放課後の居場所作りの充実と共に、地域の教育力の向上の一因になっていると考えられる。
- 子供にとって家族、担任以外の大人から指導してもらえる場であり、地域の大人にとっては子供の成長を実感できる場であるというアンケート結果があった。
- 小規模特認校制度利用児の参加や来年度入学予定児の体験参加があり、小学校に馴染むためのきっかけづくりとしての効果もあり、現代の子供たちの放課後活動には欠かせない場である。



地域のおもちゃ屋さんによる
ジャグリング教室



地域の大人と真剣勝負

ポイント

「子供たちの自由な遊びを地域の大人が見守る」という姿勢や、遊びを通じた子供・大人の関わり合いが素晴らしいです。子供を見守る大人の姿勢が学び合われている、社会教育の真髓が表れている事例ですね。